



真庭市総合計画策定ものがたり会議

みんなで描こう 25年後の真庭の姿を

第1回ものがたり会議が5月29日に本庁舎で開かれました。約40人が参加し、市の現状などを踏まえながら25年後の真庭の姿を描く作業に取り掛かりました。この会議は住民意見を総合計画に反映させるためのワークショップで、その回ごとにテーマを定めて話し合っています。第2回（6月10日）は文化・芸術、第3回（6月19日）は健康福祉をテーマに開催されました。8月上旬までテーマを変えながら開催し、みんなの思いを提言書としてまとめて市長に提出します。

和気あいあいと、でも真剣に話し合い、真庭市の25年後の姿を描いていきます



ワークショップの最後はグループごとに発表。地元の高校生も大勢参加し、活躍しています



随時募集中!
ものがたり会議では、随時登録委員を募集しています。参加を希望する人は、総合政策課（TEL 0867-42-1169）にお申し込みください。一緒に25年後の真庭の姿を描きましょう。

※総合計画策定の進捗状況などをお知らせする専用サイトを開設しています。真庭市ホームページのトップページからご覧いただくことができます。



市政に関する動きの一部を紹介します

6/10 はんざきのれんをお披露目

草木染作家の加納容子さんが市からの依頼で制作したのれんが完成し、オオサンショウウオ保護センターに展示されました。それぞれ鶯色と桃色を基調としており、のれんのデザインコンセプトなどが説明されました。



5/30 でんじろうに学ぶ科学の世界

宝くじ助成事業「米村でんじろうサイエンスショー」が、勝山地区の小学生と保護者を対象に、勝山文化センターで行われました。静電気実験や空気砲など、科学の世界を楽しく分りやすく学びました。



散走フォーラム

どんな体験できる？ 自転車目線で探してみよう



散走の魅力などについて学んだフォーラム



散走フォーラムが6月7日～8日、レストハウス白樺の丘（蒜山・上福田）で開かれました。自転車を使って散歩をするように地域と触れ合いながら走るのが散走。初日は講演などで散走の考え方を学び、グループに分かれて蒜山エリア内でのコース作りにチャレンジ。2日目には実際にそのコースを自転車で巡る体験会が行われました。フォーラムには約30人が参加し、普段とは違った目線から見える地域の魅力を楽しみました。



写真左：ちょっとした高台から見下ろす風景も自転車だからこそ出会えるもの 写真中：車だと狭い道でも自転車なら自分のペースでのんびりと散策できます 写真右：史跡などに足を止めて地域の風土に触れることができるのも散走の魅力の一つ（田部の義民の墓）



市長室から
こんにちは!

新しい総合計画づくり

真庭市では、現在、27年度から始める新総合計画づくりに取り組んでいます。人口減少と高齢化社会、地方交付税の大幅減額の状況下で、真庭市が町村連合ではなく「市」として、永続的に活力を持ち続けるには？魅力ある地域になるには？未来の真庭を語る「ものがたり会議」を開き、公募で参加した60数名の方々（高校生や若い人も大勢参加）が熱くまちづくりを語っています。あなたも加わり、元気で希望の湧く真庭づくりを語りませんか！

6/12 交流事業に役立てます

へき地教育助成贈呈式が行われ、みずほ教育福祉財団から、八束小学校へ目録が渡されました。へき地の学校が宿泊を伴う交流学习を行う場合に助成されるもので、夏と冬高知県須崎市の南小学校と交流を行います。

